

第6次軽井沢町長期振興計画策定に伴うワークショップ

軽井沢町の未来をつくるワークショップ まとめ

1. ワークショップの目的

「第6次軽井沢町長期振興計画」の検討・策定に向けて、町民等の皆様にまちづくりに対する考えやアイデア等について伺う機会として、また、軽井沢町のまちづくりに関心のある人同士の交流の機会としてワークショップを実施しました。

ワークショップにて検討いただいた内容については、「第6次軽井沢町長期振興計画」策定の際の参考資料とさせていただきます。

2. ワークショップの概要

【実施日時等】

	開催日時	開催テーマ	実施場所
第1回	5月28日(金) 18:00~20:00	◇「軽井沢町の将来像・なって欲しい姿」を検討	軽井沢町 中央公民館 講義室
第2回	6月25日(金) 18:00~20:00	◇「軽井沢町風景指標」を検討	軽井沢町 中央公民館 講義室
第3回	8月下旬 18:00~20:00	◇「軽井沢町SDGs」を検討	
第4回	9月下旬 18:00~20:00	◇「実現に向けた取組(町民等を巻き込んだ手法)」を検討	

※色付け部分は未実施。今後スケジュール変更の可能性有。

【参加メンバー】

参加メンバー	参加人数
町民等(計画策定に向けたアンケートにて申し込みの方)	13人
軽井沢22世紀風土フォーラム 基本会議委員	3人

第1回 軽井沢町の未来をつくるワークショップ

「軽井沢町の将来像・なって欲しい姿」を検討

「第6次軽井沢町長期振興計画」の計画満了時である10年後において、軽井沢町にどのようなまちになって欲しいか、「将来像・なって欲しい姿」を考えていただきました。

軽井沢町の良い所

軽井沢町の悪い所

を検討する



10年後の軽井沢町になって欲しい姿

将来像キャッチフレーズ

を検討する

チームごとの検討の様子

コロナ対策で声は抑え気味ですが、活発な議論がなされました。



記入シートへの書き込み

カラフルな絵の書き込みも！
様々な意見やアイデアを記入
いただきました。

検討内容発表の様子

発表内容に対し、同意や賛同の
声が高まる場面もあり、全体で
の意見共有にもなりました。



軽井沢町の良い所

- 緑が豊か、マイルドな自然環境。
山、水、冷涼な気候、空気。
- 人と動物の共生ができています。
- 文化と歴史。(別荘文化～中山道)
- 程良い距離感。
- 別荘所有者と住んでいる方との距離感がある程度あるから、移住してきた方も別荘の方も居心地がいいのではないかと。
- 災害が少ない。(特に地震)
- インフラ充実。(財政力が豊か)
- 交通の利便性が良い。(東京に近いこと)
- 文化施設(美術館、大賀ホール、図書館他)充実。
- 老若男女それぞれに楽しめる。
- 町民等の文化レベル高い。
- 新しい学校。

軽井沢町の悪い所

- 公共施設を華美にしすぎ。恰好付け。
→軽井沢ブランド？(軽井沢らしさ?)にこだわる。
- 過度な施設(下水、学校)
- 公共下水道を広域に広げることは維持費もかかる。合併処理浄化槽等の活用も。
- 行政のリーダーシップが弱い。
- 医療体制が軟弱。
- コミュニティの繋がりが少ない。
- 交通(町内)問題。
(渋滞・高齢化対応の公共交通手段)
- 道路整備不良。
(通学路・歩道・自転車専用道路)
- 緑の減少。(緑はものすごい勢いで減少している)
- 使われていない別荘(空家)問題。

10年後の軽井沢町になって欲しい姿

- 地区の充実により町民等が支え合う。
- 区単位で生活が成り立つようなシステムを目指して欲しい。
- 個人事業の継続。(八百屋さん等のお店が残るように。)
- コンパクトタウン(地区毎に)歩いて行ける範囲で生活できる。
- 公共シェアサイクルシステム構築。
- 緑はこれ以上減らさない、現状維持。(税未納の別荘など差し押さえで緑化)
- 環境維持する町として日本のモデルとなるべき。(ZEH(ゼロエネルギーハウス)など、環境負荷の小さい住宅を強制するような建築規制)

(将来像キャッチフレーズ)

環境先進都市として日本のトップを目指す！！

※●は記入シート記入内容概要、■は発表内容概要。以下同様。

(生まれも育ちも軽井沢の方、移住者(10年前と1年前)、別荘所有者という多様性に富んだメンバー)

軽井沢町の良い所	軽井沢町の悪い所
<p>【町民】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■自然が素晴らしい所。 ●地域ごとの多様性。 →旧軽・新軽・中軽・追分(仮宿)・大日向地区。 ●ブランド力が高い。 →善良な風俗を守る要綱や自然保護対策要綱。 ■要綱等がしっかりしており、他のまちよりも守られていて、安心感がある。 ●有能な経営者が多い。 →星野リゾートなど。 ●マイルドな自然が多い。 →元々が草原だったので、人間が作った自然なので人間が接しやすい+動物との共存(排除だけじゃなく)+安心感 ●別荘地コミュニティ。 →コミュニティのつくりかた。 →人との交流施設! <p>【移住者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子育て環境がよい。 →幼稚園・小・中。 →幼稚園が広い!校庭の中に森がある! ■在住の子どもたちが、挨拶をしてくれる。 →子どもたちが無邪気ですなお!のびのび。 <p>【別荘所有者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●静か!涼しさ。 →鳥のなき声、緑がゆたか、川がきれい。 ●施設がすばらしい。 ■まちの施設も充実し、使いやすい。 ●建物の高さ制限、建物の色もおしゃれ。 ●職住接近!歩いて仕事もくらしもできる。 ●観光客は来やすい、気軽に帰れる。 ●カナダのウィスラーにそっくり! ●コンパクトさも! ●人も宝石箱! 	<p>軽井沢町の悪い所</p> <ul style="list-style-type: none"> ●公共交通機関が少ない。 →バスも列車も、本数が少ない。 →子どもたちの通学の足が足りない。 (通学の不便さは保護者会でも話題) →中学が1つなので。 →風越の子どもたちの通学が多い。 (風越は自転車通学禁止) ●信号が少ない!運転手さんの良心に依存。 ●夏に車が多い!(救急車はどうする?) ●車中心社会。 ← →道がガタガタ・自転車が走りにくい。 →みちばたのゴミ多い。 ■自転車で通行するための道が危ない。(家にもってしまふ要因にもなってしまう) ●子育て環境。 →習いごとの選択肢が少ない。 →就職先が少ない。 ■習いごとに関する情報発信が必要。(習いごとの教室はあるけど、知らないだけかも?) ■習いごとのマッチングが出来ると良い。(子どもの習いたいニーズから、教えてくれる人を募集する等) ■ボランティアを行っている所もたくさんある。その情報発信も行っていけると良い。 ●観光客 →日帰りが多い →おみやげがあまりない(観光客のお金の落とす先) ●別荘が増えている! →木を切って木が減っている! →木があるから涼しい! →新築の際、文京区保護樹林みたいにナンバリングできるように、木を残したら補助金等 ●最近カラスが増えた。木とリスが減った! ●河川、森林管理、気候変動の災害対策がんばって! ■河川増水時にどうすればいいか、といった対応も重要。

悪循環

10年後の軽井沢町になって欲しい姿

- 脱・車社会。「車をやめよう」
→自転車。Park & Ride。(ツエルマット・ベネチア)
- 「別荘の街」としても確立！
→別荘と町民等とで共創コミュニティ。
- 別荘所有者と町民等と一緒に共創していけると良い。
- スキー等ウィンタースポーツをゼロカーボンに！
- 雪を作ることに石油燃料がたくさん使われている。
- 心もカラダも経済的にもゆたかな街。(幸福度の高いまち)
- 子どもたちが住みつけたいくなる街
→仕事も、次の親となることができる街に！(観光業以外の産業も)
- 創造性が育つまち。(クリエイティブなまちにしよう)
→国際会議都市×G20×別荘×町民 ビジネス！創造性！
→教育…for子ども、for大人
- 軽井沢グランドデザインの絵！環境問題。
- グリーンリカバリーのモデル拠点に、森づくりを通じて
→いい森を広げていきたい！
→e-バイクの普及！・森のワークショップ(全国声の届きやすい)を広げていいエリアにしたい！
- 子どもにも生態系にも地球にもすべての命にやさしい、居心地のよい心ゆたかな軽井沢。



(将来像キャッチフレーズ)

心もカラダも動物も植物も地球も

みんなが心ゆたかにリカバリできる軽井沢！！

各チームで記入いただいたシート (抜粋)

<p>軽井沢町の良い所</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自然が豊かである。 ●交通の便が良い。 ●文化水準が高い。 ●多様性に富んでいる。 ●都会的なお店が多く賑やかである。 ■良い所があると、その反面があるという意見も多かった。 ■「交通の便がいい」⇔「渋滞する」のように、良い所と悪い所は相反するところが多い。 	<p>軽井沢町の悪い所</p> <ul style="list-style-type: none"> ●渋滞する。 ●電柱が未整備である。 ●人間関係がうまくいっていない。(静かに過ごしたい人と交流を持って過ごしたい人それぞれがいるので。) ●木を切りすぎであるとか大きくなりすぎている等、問題が多い。 ■軽井沢町として緑が多い環境が良いのはもちろんだが、大きくなりすぎたり、木の問題は複雑。 ●バイク族がうるさい。(暴走族でなく中高年のツーリング) ■バイクが集団で走るのが迷惑となっている。
---	---

10年後の軽井沢町になって欲しい姿

(日頃から地区のお仕事をしていただいている方がメンバーに多い。課題をまとめている。)

- 道路、建物、敷地、樹木、電柱、公共施設等の整備体勢ルールを完備する。
- 離山を開発する。展望台、天体観測所、子供科学館等を作って防災拠点とする。
- ラグビー場を風越総合運動場に作って欲しい。
- 防災体制が出来ているまちになって欲しい。
- 多様性を生かして協働する地域社会。
- 定住や別荘所有、移住等、様々な暮らし方をしている方がいて多様な方がいる。そして、働き方、自然・文化というようなたくさんの多様性が共存できる地域社会になって欲しい。
- 心豊かな人達の集う町になって欲しい。

(将来像キャッチフレーズ)

多様性と協働のまち

～人、働き方、自然、文化の長所を生かして～

- 軽井沢町は 1923 年に町政が施行されたので、第6次計画のスタートの年と、軽井沢町の次の 100 年のスタートが同じ。第6次の計画期間が軽井沢町の次の 100 年の最初の 10 年間となる。
- オリンピックの「多様性と調和」、SDGs の「多様性と包摂」のように「多様性」は重要。
- 様々な意見や価値観を持つ多様な人々がまとまって、協力して人が動く「協働」をもっと進めていくことが、軽井沢町として必要。
- 行政、議会、町民等、通勤通学している人も含めてコラボすることが重要。